

第9回

ICTを活用した歩行者の移動支援に関する勉強会

参考資料

平成25年2月21日(木)

参考資料

引用した各事例のホームページの紹介

1. 放射線情報
2. Linked Open Data チャレンジ Japan 2012
3. ヨコハマ・アート・オープンストリートマップ
4. Open Street Map
5. 奥三河観光協議会
6. Lisra(位置情報サービス研究機構)
7. Check A Toilet
8. Googleマップ(利用規約一部抜粋)
9. Wikipedia(利用規約、注意事項の抜粋)

1. 放射線情報

放射線情報－Yahoo!JAPAN



<http://radiation.yahoo.co.jp/>

放射線チェッカー (放射線情報と同じデータを利用して開発したスマートフォンアプリ)



<https://play.google.com/store/apps/details?id=com.yicha.android.hoshasen&hl=ja>

2. Linked Open Data チャレンジ Japan 2012

Linked Open Data チャレンジ Japan 2012 ホームページ

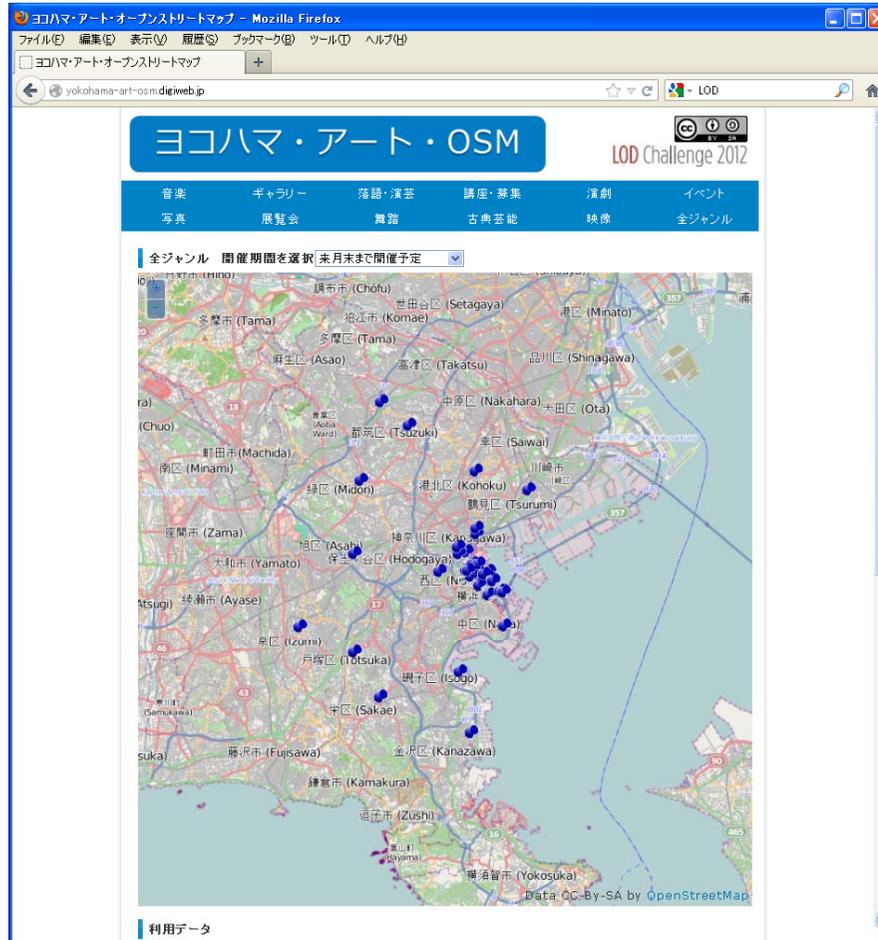


<http://lod.sfc.keio.ac.jp/challenge2012/index.html>

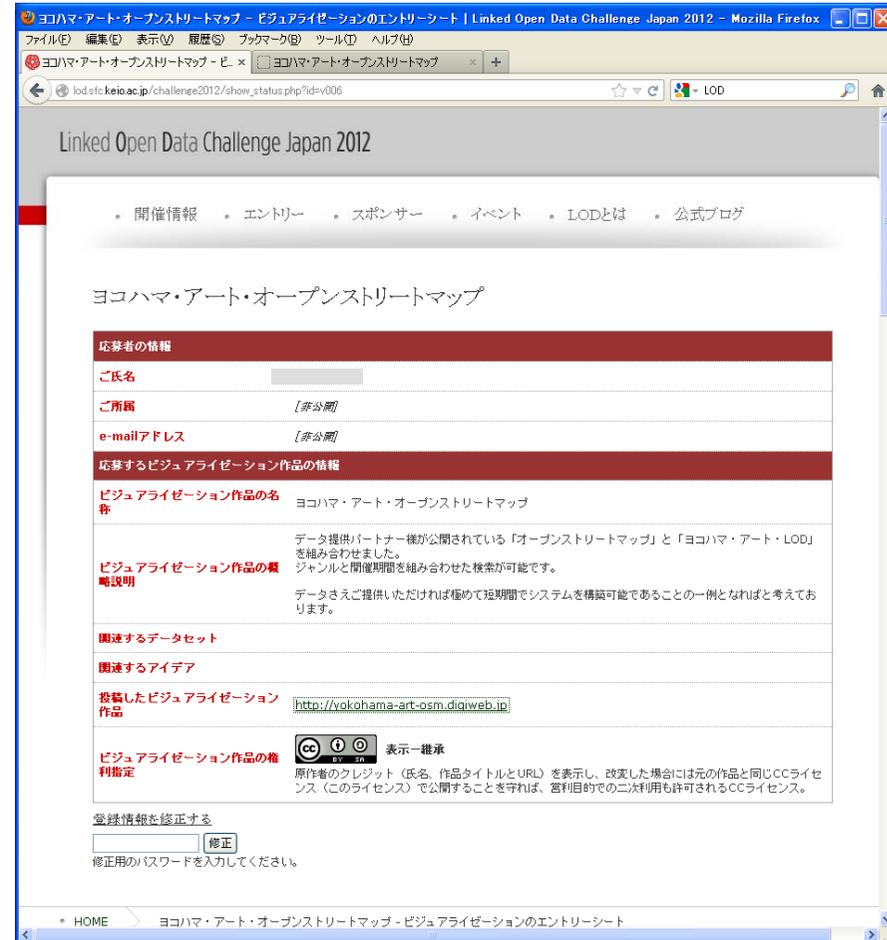
3. ヨコハマ・アート・オープンストリートマップ

ヨコハマ・アート・オープンストリートマップ
ホームページ

LODチャレンジのエントリー内容のサイト



<http://yokohama-art-osm.digiweb.jp/>



http://lod.sfc.keio.ac.jp/challenge2012/show_status.php?id=v006

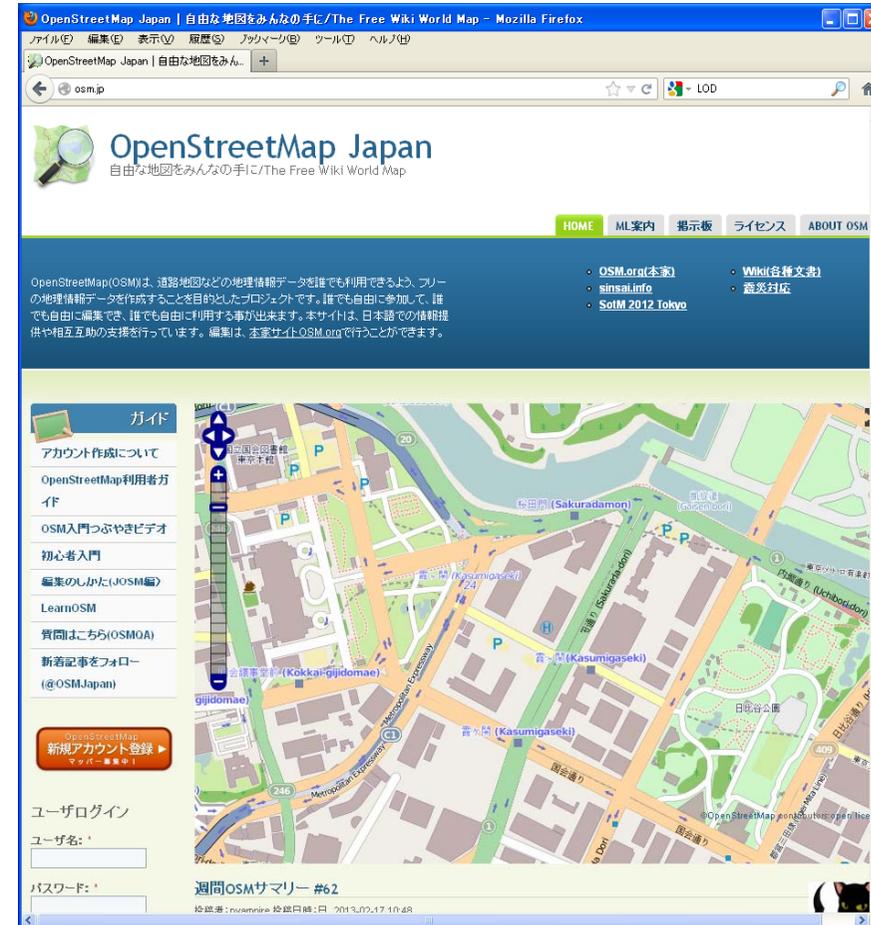
4. Open Street Map

オープンストリートマップファウンデーション
 ジャパンのホームページ

オープンストリートマップの表示ページ



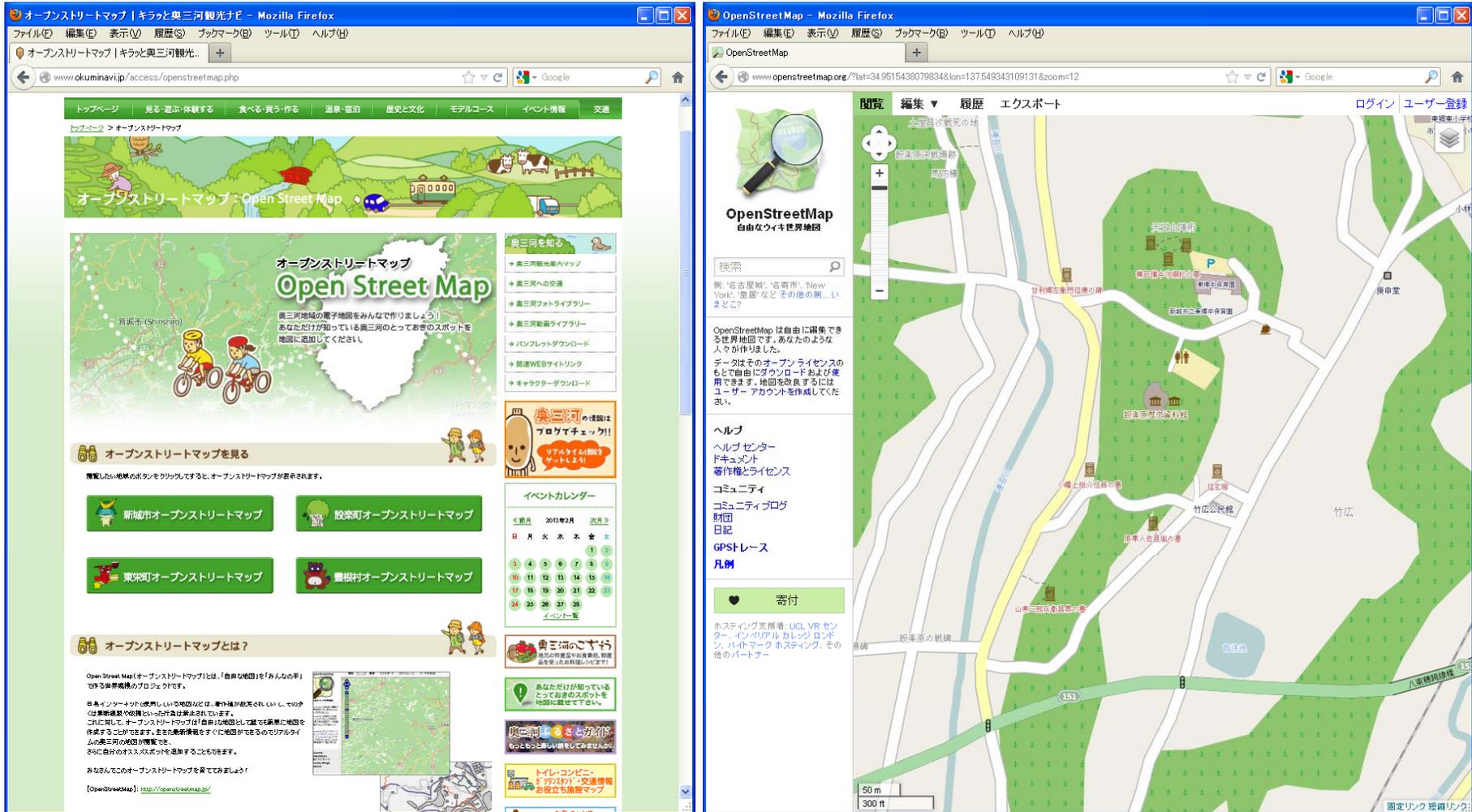
<http://www.osmf.jp/>



<http://osm.jp/>

5. 奥三河観光協議会

奥三河観光協議会でリンクされている、Open Street Mapのページ



<http://www.okuminavi.jp/access/openstreetmap.php>

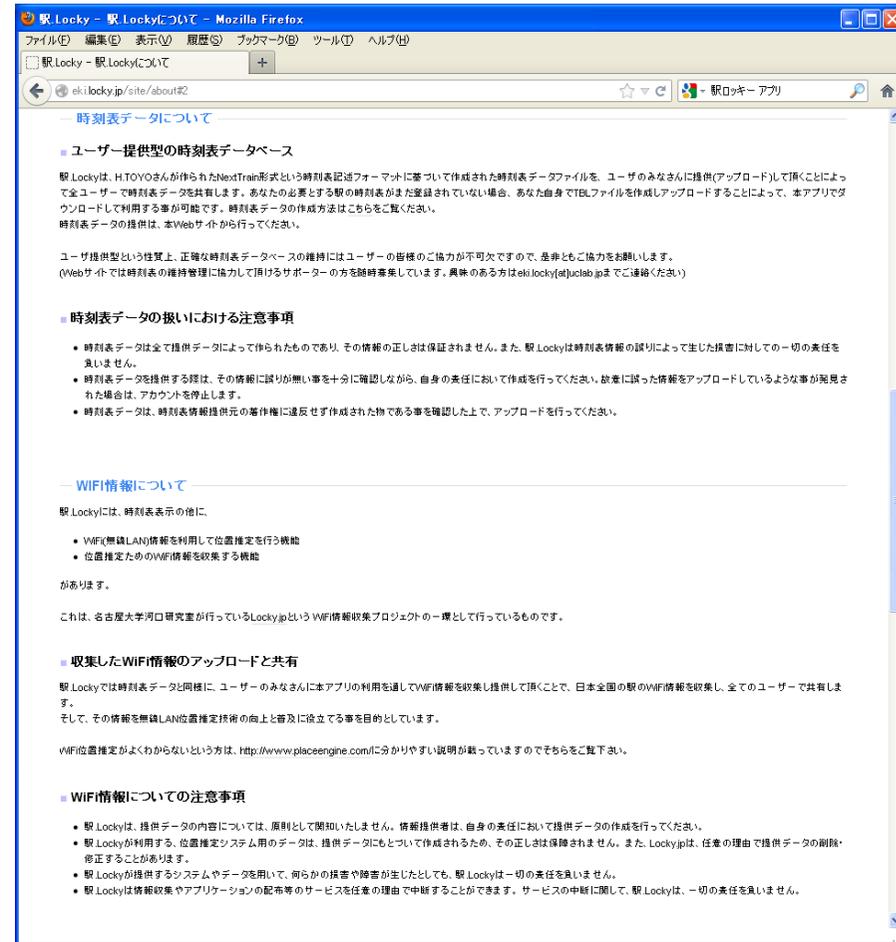
6. Lisra(位置情報サービス研究機構)

Lisraが運用する「駅. Locky」ホームページ



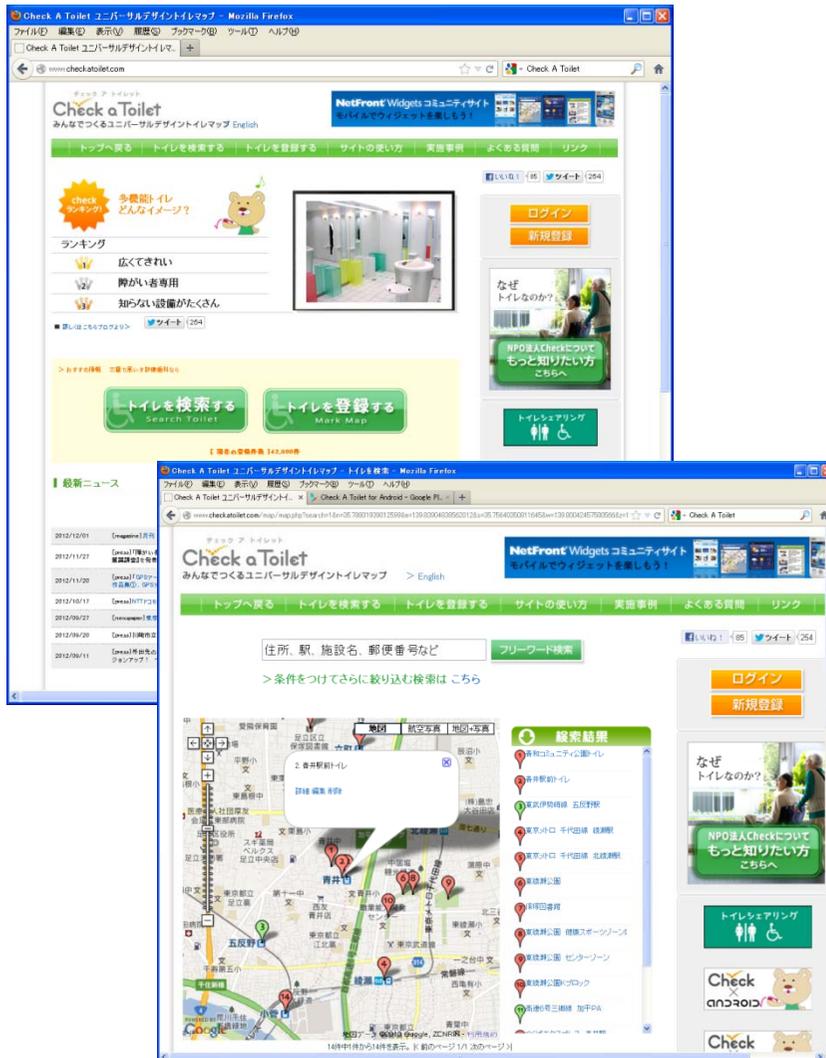
<http://eki.locky.jp/>

「駅. Locky」の利用時の説明事項



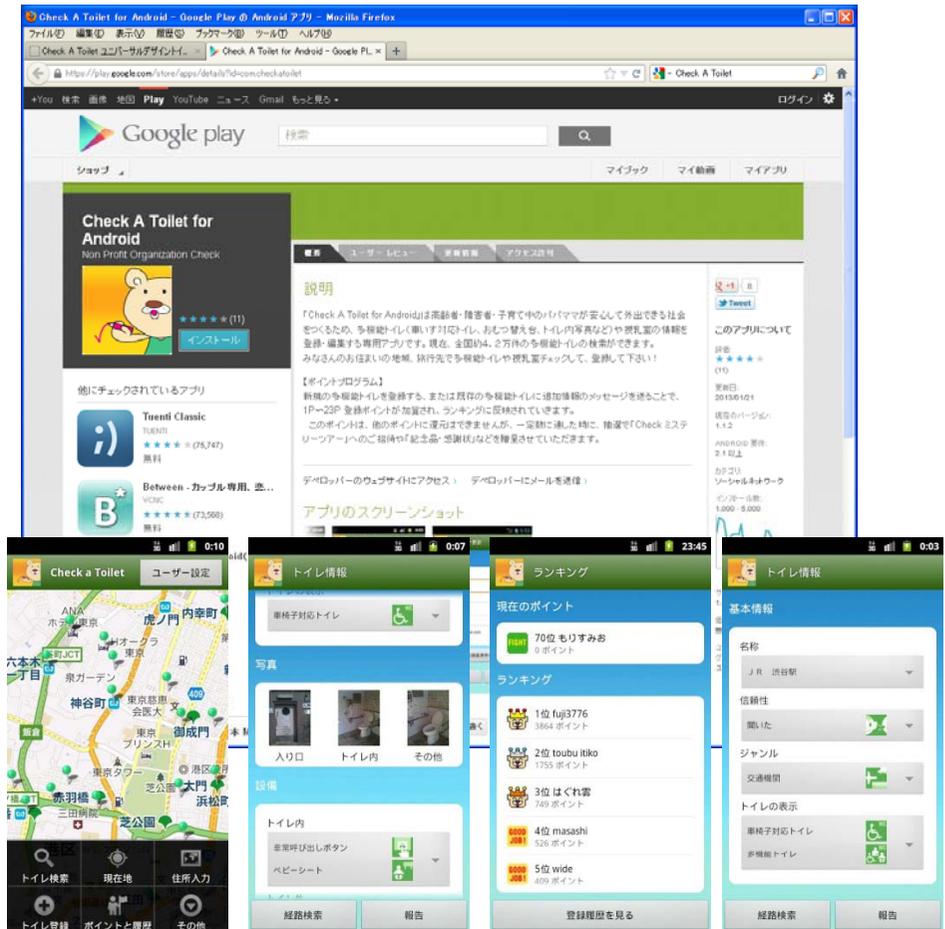
7. Check A Toilet

Check A Toiletホームページ



<http://www.checkatoilet.com/>

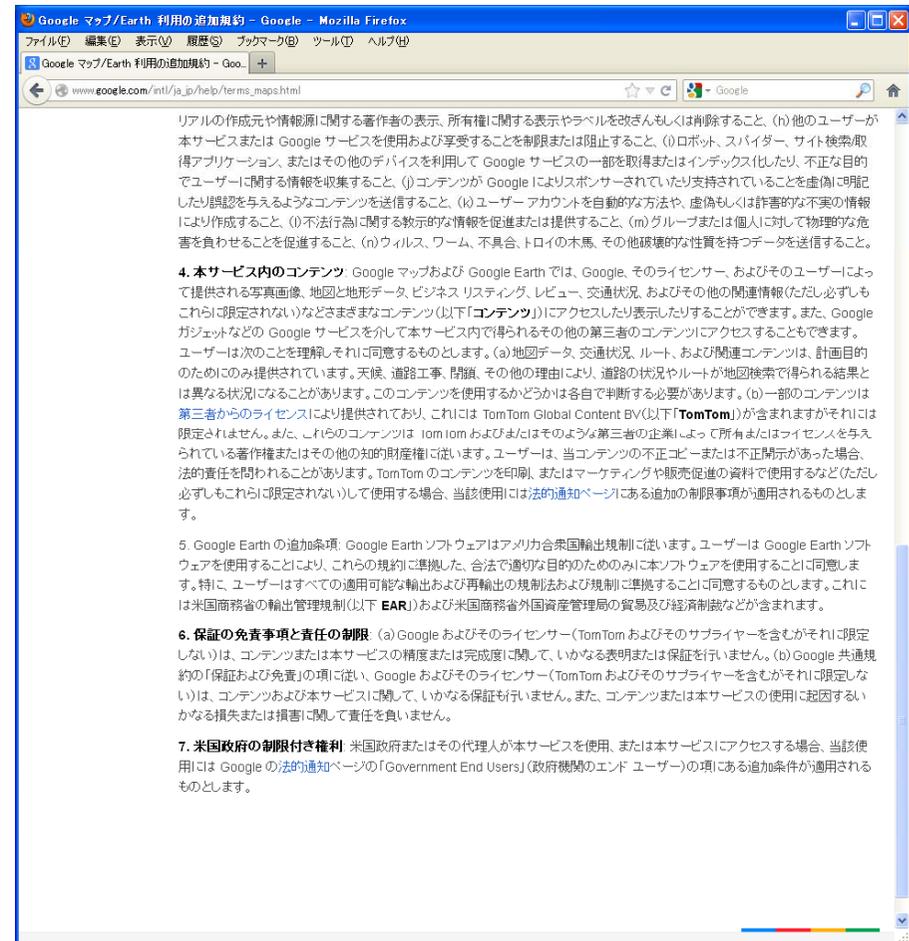
スマートフォンアプリの配布サイト



<https://play.google.com/store/apps/details?id=com.checkatoilet>

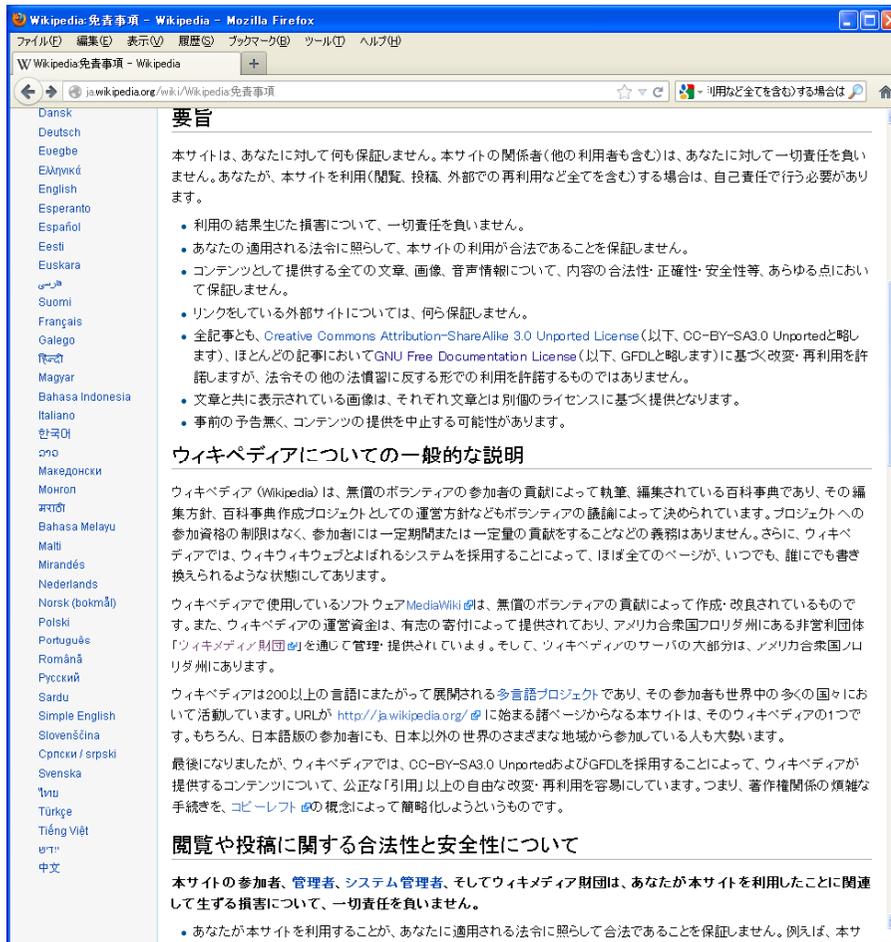
8. Googleマップ(利用規約一部抜粋)

Googleマップの利用の追加規約(地図やコンテンツの利用に関する事項)



http://www.google.com/intl/ja_jp/help/terms_maps.html

Wikipediaの免責事項



Wikipedia: 免責事項 - Wikipedia - Mozilla Firefox

ja.wikipedia.org/wiki/Wikipedia:免責事項

要旨

本サイトは、あなたに対して何も保証しません。本サイトの関係者(他の利用者も含む)は、あなたに対して一切責任を負いません。あなたが、本サイトを利用(閲覧、投稿、外部での再利用など全てを含む)する場合は、自己責任で行う必要があります。

- 利用の結果生じた損害について、一切責任を負いません。
- あなたの適用される法令に照らして、本サイトの利用が合法であることを保証しません。
- コンテンツとして提供する全ての文章、画像、音声情報について、内容の合法性・正確性・安全性等、あらゆる点において保証しません。
- リンクをしている外部サイトについては、何ら保証しません。
- 全記事とも、Creative Commons Attribution-ShareAlike 3.0 Unported License(以下、CC-BY-SA3.0 Unportedと略します)。ほとんどの記事においてGNU Free Documentation License(以下、GFDLと略します)に基づく改変・再利用を許諾しますが、法令その他の法慣習に反する形で利用を許諾するものではありません。
- 文章と共に表示されている画像は、それぞれ文章とは別個のライセンスに基づく提供となります。
- 事前の予告無く、コンテンツの提供を中止する可能性があります。

ウィキペディアについての一般的な説明

ウィキペディア(Wikipedia)は、無償のボランティアの参加者の貢献によって執筆、編集されている百科事典であり、その編集方針、百科事典作成プロジェクトとしての運営方針などもボランティアの議論によって決められています。プロジェクトへの参加資格の制限はなく、参加者には一定期間または一定量の貢献をすることなどの義務はありません。さらに、ウィキペディアでは、ウィキウィキウェブとよばれるシステムを採用することによって、ほぼ全てのページが、いつでも、誰でも書き換えられるような状態にあります。

ウィキペディアで使用しているソフトウェアMediaWikiは、無償のボランティアの貢献によって作成・改良されているものです。また、ウィキペディアの運営資金は、有志の寄付によって提供されており、アメリカ合衆国フロリダ州にある非営利団体「ウィキメディア財団」を通じて管理・提供されています。そして、ウィキペディアのサーバの大部分は、アメリカ合衆国フロリダ州にあります。

ウィキペディアは200以上の言語にまたがって展開される多言語プロジェクトであり、その参加者も世界中の多くの国々において活動しています。URLが <http://ja.wikipedia.org/> に始まるページからなる本サイトは、そのウィキペディアの1つです。もちろん、日本語版の参加者にも、日本以外の世界のさまざまな地域から参加している人も大勢います。

最後になりましたが、ウィキペディアでは、CC-BY-SA3.0 UnportedおよびGFDLを採用することによって、ウィキペディアが提供するコンテンツについて、公正な「引用」以上の自由な改変・再利用を容易にしています。つまり、著作権関係の煩雑な手続きを、コピーレフト®の概念によって簡略化しようというものです。

閲覧や投稿に関する合法性と安全性について

本サイトの参加者、管理者、システム管理者、そしてウィキメディア財団は、あなたが本サイトを利用したことに関連して生ずる損害について、一切責任を負いません。

- あなたが本サイトを利用することが、あなたに適用される法令に照らして合法であることを保証しません。例えば、本サ

<http://ja.wikipedia.org/wiki/Wikipedia:免責事項>

Wikipediaの利用上の注意事項



Wikipedia:ウィキペディアへようこそ - Wikipedia - Mozilla Firefox

ja.wikipedia.org/wiki/Wikipedia:ウィキペディアへようこそ

ウィキペディアにはルールがあります

ウィキペディアにおいては守っていただくなくてはならないルールがあります。大前提として、著作権の侵害は絶対に行ってはいけません。著作権の侵害は犯罪であり、ウィキペディアとその利用者には大きな迷惑をかけることとなります。ウィキペディアの基本原則として「五本の柱」があり、これを具体化したものとして方針とガイドラインが作られています。方針とガイドラインには、全員が従うべき「方針」と、強制力はないものそれに準ずる「ガイドライン」があります。重要な方針としては、**中立的な観点**から記事を書くべきだという強い方針があります。激しい議論が繰り返されているような事例においては、議論の一方の当事者の見解のみを喧伝するような記述は避け、両論を併記するバランスのとれた記述を心がけてください。

検証可能性を確保することも重要な方針です。ウィキペディアに掲載される情報は信頼できるものでなければなりません。信頼できる情報源から公表されている事実や議論の拠点を掲載してください。記事には出典を明記すべきです。情報源が明らかでない内容は、異議を述べて取り除くことができます。

独自研究は載せないことも重要な方針です。ウィキペディアには、未発表の情報や、発表済みの情報に対して行った独自の分析や解釈を掲載することはできません。独自研究ではないことを示す方法は、信頼できる資料を出典として明記することです。

著作権に関する注意事項

ウィキペディアはCC-BY-SAとGFDLのデュアルライセンスを採用しています。利用者はいずれかのライセンスを選ぶことが出来ます。

上記の使用条件においては、**コピーレフト**の思想にたがって、あなたが書いたオリジナルな文章の著作権はあなたに属します。あなたがウィキペディアに投稿した文章は、あなたの著作物として将来好きなように使うことができます。ただし、通常の著作物の公開は撤回することもできますが、CC-BY-SAおよびGFDLに基づいて一度公開した著作物の公開は撤回することはできません。また、あなたは、自らがウィキペディアに投稿した文書のCC-BY-SAおよびGFDLに基づく再利用を許可しなければなりません。詳しくは[利用規約](#)をご覧ください。

各項目の編集は自由ですが、著作権が放棄されているわけではありませんので、元の著者を尊重して下さい。引用する方法は「[ウィキペディアを引用する](#)」を参照してください。著作物の再配付は自由ですので、利用の際に著作権料を支払う義務はありません。

コピーレフトとは「再配付および再利用の自由、変更の自由、著者の尊重」などを意味し、共有と共同の創造活動を保護するやり方です。コピーレフトは、コンピュータの世界ではLinuxなどのフリーソフトウェアの成功とともにその概念が知られています。ウィキペディアではコピーレフトを実現するためにCC-BY-SAライセンスが使われています。また、互換性に関する理由からGFDLも利用できます。CC-BY-SAは、文書等の流通に際して著作権に関する法的問題を回避するために**クリエイティブ・コモンズ**によって定められたライセンスです。GFDLは**フリーソフトウェア財団**によって定められたライセンスで、作品の自由を保護するためのライセンスとして世界中で信頼されています。

日本の著作権法では、著作権の保護期間は作者の死後50年間となります。匿名で公表された著作物や、著作者が法人の場合は、最初の出版の時点から50年間の保護となります。なお例外が存在します。詳しくは「[著作権の保護期間](#)」をご覧ください。

プライバシーに関する注意事項

ウィキペディアのウェブサイトを開覧するときは、他の一般的なウェブサイトを訪問したときにサーバに記録される情報のほかには、いかなる情報も収集されません。ウィキペディアに投稿するときは、あなたは送信したすべての文言を公表す

<http://ja.wikipedia.org/wiki/Wikipedia:ウィキペディアへようこそ>